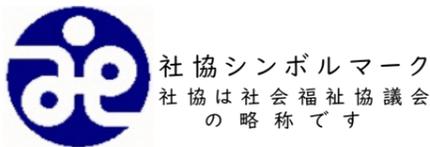


発行／中野島地区社会福祉協議会  
 川崎市多摩区登戸1891  
 第3井出ビル3階  
 福祉パルたま内  
 地域課：電話：935-5500  
 FAX：911-8119  
 発行人／田村 弘志  
 編集人／総務部



# なかのしま

2021. 1. 15 No.40 (年2回発行)

中野島地区社協のテーマ

この地域  
誰もが暮らしやすい  
中野島・布田

この広報紙は、皆様からの  
会費で作られています

この状況下、情報の発信は大きな役割を担っていますので中野島社協の「なかのしま」、



平成8年発行 なかのしま 創刊号

新型コロナウイルス感染症はさらに拡大し終息は見られない中に私たちは置かれています。しかしただ立ち止まっているわけには行きません。苦戦しつつも皆様の大きな支援によりこの広報誌も40号を発行することが出来ました。重ねて皆様のご支援とご援助に深く感謝いたします。

今年度の中野島社会福祉協議会の活動はまったく例年のような活動は出来ていません。教育現場でも幼児、小、中学校の全面休校で始まった新学期でした。大学教育では三密回避を徹底するために現在も非対面のオンライン授業が主流のようです。私たちは会議を開き基本に戻り意見を交換しながら今出来る事を探ってきました。例年の総会、福祉の集い、会食会、ミニデイサービス、研修会、研修視察会、他地区社協との交流会、その他多くの部会活動が中止になってしまいました。

この状況下、情報の発信は大きな役割を担っていますので中野島社協の「なかのしま」、

## 田村会長あいさつ

## 広報紙「なかのしま」も第40号を迎えました 新しい年を迎えて

区社協の「多摩」、ボランティア情報誌「たまぼら」、等を通して福祉についての理解を深める努力をしました。

通常の日常生活がままならない人々への相談、具体的生活支援資金援助や貸し出しなどを行っている事務局職員への協力支援をしました。

私たち中野島社協のモットーである「この地域、誰もが暮らしやすい中野島・布田」のさらなる推進のために力いっぱい活動してきました。これから課題は多いですが希望をもって明るい未来に向かって一つ一つの課題に対処し、私たちが出来る最大の活動をしていきたいと思っています。

私たち社会福祉協議会が求められている超高齢社会の問題や、少子化時代の子育て支援や、身障者との共生社会への実現などの課題に挑戦して

## 部会・委員会活動紹介

平成18年(2006年)に中野島地区社協が発足して14年になります。2006年7月1日に第1号を発行、現在第40号発行に至りました。

初期は年3回発行していましたが、平成28年より年2回の発行になりました。年度内の事業報告・特集・連載記事など掲載しています。

地区社協には5つの部会・委員会(総務部・福祉部・青少年幼児部・老人会食委員会・ミニデイケア委員会)と多摩区社協会長委嘱による老人いこいの家運営委員会があります。今回の特集は「老人いこいの家運営委員会、会食委員会、ミニデイケア委員会」のそれぞれの活動内容などの紹介をします。

(2面3面に紹介)

## 戦後の頃の食べ物思い出(その一)

### 中野島のこんなこと知っていますか

田村 弘志

早春には、秋に収穫したタマネギを12月に畑に植えて、春野菜の初物として食べます。この美味しい野菜をなぜかバカネギとよんでいました。卵とじにして食べますと春の香りが口いっぱい広がり、冬が去り春がきたと口ずさんでしまいました。続いて小松菜やさやえんどうと色々な野菜が採れるようになります。



人口の少ない中野島にも自転車で納豆売りが来るようになりました。「ナットー、ナットー」と大声で叫びながら売りに来ました。納豆については聞いていましたが食べた事はありませんでしたので美味しい物だと想像していました。食べてみたくて遂に食べる事ができた時は、想像とこんなにも違った物は人生で初めての経験となりました。

大豆のことをタノクロ豆と呼んでいました。田植えが終わると田んぼの畦道に3人で大豆をまきます。一番目の人が細い竹棒を1m50cmぐらいに切つて5cmぐらいの節下で切った棒で30cmおきに穴を開けていきま

粒まきです。3番目の人が灰を被せます。稲刈りの前に大豆の収穫をしますが、この収穫したての大豆をスリバチで潰してみそ汁にします。新大豆のご汁は一年に一度の香りや甘みの調和した傑作だと思

粒まきです。3番目の人が灰を被せます。稲刈りの前に大豆の収穫をしますが、この収穫したての大豆をスリバチで潰してみそ汁にします。新大豆のご汁は一年に一度の香りや甘みの調和した傑作だと思

## 暮らしやすい地域作りへの一言

中野島商店会 会長 太田 政人

中野島商店会は昭和40年前後に設立されました。中野島駅前には藤屋ストアーとこの食堂があり、南武線の踏切を渡る左側に大きな工場「キトー製作所」がありました。駅のまわりは田畑が広がりましたが、梨園が点在していました。

中野島商店会は広範囲にお店があり、下布田から中野島、さらに土淵の方までお店がありました。やがて昭和55年に「キトー製作所」が山梨県に移転し、その後跡地に「新多摩川ハイム」が完成し、一挙に住民も増えました。中野島商店会も徐々に会員数を増やしていき、現在72店舗が加盟しています。

商店会の事業としては、7月に「中野島音楽祭」と同時開催する「サマーバザール」を行い、10月に「中野島稲荷神社の祭礼に協賛し、12月には歳末福引き大売り出し、1月には「川崎フロンタールサイン会」を駅前で行っています。

7月のサマーバザールにつきましては、諸事情により昨年の第20回をもちまして終了することになりました。また新たな企画を考えていきたいと思います。

今年度は新型コロナウイルスの影響を受け、商店会の事業拡大の影響を受け、中止しなければなりません。中止したとしても、現在も状況が透き明かしていません。引き続き「川崎」などからの「支援券」などご支援をいただきながら各店ががんばって支えていこうと思います。

今年度は新型コロナウイルスの影響を受け、商店会の事業拡大の影響を受け、中止しなければなりません。中止したとしても、現在も状況が透き明かしていません。引き続き「川崎」などからの「支援券」などご支援をいただきながら各店ががんばって支えていこうと思います。



離れて暮らすご家族を郵便局がみまもります。

## 郵便局のみまもりサービス

**みまもロー**

**川崎中野島郵便局**  
川崎市多摩区中野島 1-27-1  
TEL 044-944-8508

**川崎中野島北郵便局**  
川崎市多摩区中野島 6-27-3  
TEL 044-922-9200

【営業時間】9:00～17:00  
【金融窓口】9:00～16:00

郵便局のみまもりサービス  
© 南関東支社キャラクター

## なかのしま今昔

田境にある「橋本橋」周辺です。この橋は、二ヶ領用水本川にかかり、平成21年に新たに完成しました。

橋本橋  
野島 今昔  
前通り 生

# 中野島地区社会福祉協議会の活動と中野島老人いこいの家の活動

## 中野島老人いこいの家

老人いこいの家とは、愛称を「いこいのいえ」とし、高齢者に教養の向上・レクリエーションの場を提供することにより、健康の増進を図ることを目的とした施設です。

虚弱な高齢者の方も含め、幅広い利用ができるよう地域住民がミニデイ・サロン・会食活動・配食活動等の小地域福祉活動を実施しています。



中野島老人いこいの家

川崎市内では現在48か所に設置されていて、多摩区のみこいの家は、川崎市から指定を受け、川崎市多摩区社会福祉協議会が指定管理者として運営しています。また、より多くの高齢者の方々が、いつまでも現役で自立できるように様々な取り組みが行われ、地域に開かれた施設になるよう努力しています。

私たちが暮らしている地域には、「中野島老人いこいの家」という名称で、駅より徒歩2分のところにあります。ふくし寄合処・健康うた広場・健康教室(マツサージ、入浴)・会食会・ミニデイ(たんぽぽ)・団体がありません。

対象は60歳以上の川崎市区域内在住の方で料金は無料です。但し団体等をご利用される際に参加費や材料費がかかる場合があります。詳細は「いこいの家」でお尋ね下さい。



## ミニデイサービス「たんぽぽ」

在宅高齢者の自立の助成、孤独感の解消、体力維持、家族の方への負担軽減など地域における高齢者福祉の向上を目的としています。呼称を「たんぽぽ」としています。

中野島・布田地区にお住まいの介護認定要支援1・2程度の高齢者で70歳以上の方(もっとも元気な方も利用可能です。そして老人いこいの家まで徒歩で来られる方。)を対象とし、現在12名の方が利用されています。

活動内容は

- ①介護予防と健康維持
- ・血圧測定と問診(開始前)。
- ・地域包括支援センターと区役所による健康指導(熱中症対策・イ)



毎月、第四金曜日の午前11時から午後2時に実施しています。利用料は、昼食代として500円をいただいています。

- ②季節の飾り制作
- ・おひな様の塗り絵
- ・鯉のぼり壁飾り
- ・七夕やクリスマスマスの飾り
- ③演芸鑑賞
- ・ボランティアの方による楽器演奏・踊り
- ・手品・漫才・落語
- ・全員による合唱
- ④食事サービス
- ・季節のお弁当と手作り味噌汁を用意しています。

ンフルエンザ予防など)

介護士による楽しい脳トレ体操・ゲーム(輪投げ・ビンゴ・ボール遊び等)

## 老人いこいの家 グループ活動風景



フォークダンス



太極拳



さらさら会(塗り絵)



葉月会(俳句)



フラダンス



健康体操



人生楽会(カラオケ)



彩遊会(水彩)



ふくし寄合処たま

## 老人会会食

老人会会食を知っていますか? 70歳以上のひとり暮らし・または日中独居のかた、75歳以上の高齢者世帯を対象に年6回(5月 6月 9月 10月 11月 3月)第3水曜日に老人いこいの家にて開催しています。民生委員の方はじめ地域のボランティアの方の協力で、手作りの昼食・落語・手品などの催し物を楽しんでいただく会です。



会食会 今日の献立と演芸風景



しかしコロナ禍で、今年はまだ一度も開催されていません。このような状況になるとは、誰も予想できなかった事ではないでしょうか。いまだコロナの終息が見えない中、不安を抱えての開催はできません。「正しく恐れる」生活が定着した今、マスク・手洗い・消毒等コロナに罹らない生活習慣を続けな

から、「美味しかった」「ありがとう」の参加の皆様の笑顔が一日も早く見られることを願いながら、開催できる時を心待ちにしています。

## おばあちゃんの知恵袋

◎布団をふかふかに  
布団が気持ちいいとよく眠れるので、ふかふかの布団にしたいですね。干し方は、天日干しがおすすめです。太陽の熱や紫外線は、殺菌効果があり、汗などの湿気も逃がします。

- 干す頻度
- 綿布団 2〜3時間 (毎日でも可)
- 合繊布団 2〜3時間 (できるだけ多く)
- 羊毛布団 1〜2時間 (週に1回)
- 羽毛布団 2〜3時間 (月に1〜2回)でもOK

◎押し入れと靴箱の湿気取り  
押し入れの湿気には、新聞紙。一枚ずつ筒状に丸め、新聞紙は半間につき8枚が目安。新聞紙は半取り替えましょう。新しいものに靴箱にもおすすめ。できるだけ細かく巻いて、たくさん入れるのがポイントです。

◎押し入れ下段の有効活用  
押し入れ下段は、奥と手前でスペースを分けましょう。奥には、季節がいの暖房器具や扇風機。手前には、アイロンなど日常使うものを収納。キャスター付きのスノコを使うと、重い物を簡単に取り出せます。